



令和6年度大阪商業大学商業史博物館秋季企画展

# 河内 Moment<sup>もめん・と</sup>

暮らしの中の美

当館秘蔵

河内木綿  
100点余  
を一堂展示！

江戸時代から明治時代にかけて河内一帯で栽培され、紡ぎ織られた木綿《河内木綿》は、糸太地厚で質が良く、衣類や日常製品に用いられ、江戸時代からその名が広く知れ渡りました。

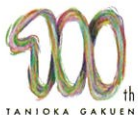
河内は大和川の付替えを契機として、全国有数の木綿生産地へと発展しました。本展のタイトル「河内 Moment」は「ある特定の時点や時期、重要な節目や機会、契機」などを意味する「Moment」と「木綿・と」を掛けています。

本展は当館が40年に渡り収集・保存してきた木綿関連資料から、河内の家々に伝わった衣類や布製品、当時の木綿文化を伝える絵画や写真などを通して、河内木綿の大ききで力強い魅力を伝えます。

開催期間：10/23 (水)～12/14 (土) 開館時間：10時～16時30分  
休館日：日曜日 (11/4、23は開館) [観覧料無料]

後援：大阪府、大阪府教育委員会、大阪商工会議所、東大阪市、東大阪市教育委員会、東大阪商工会議所  
協力：今東光資料館、河内木綿コットン・クラブ、河内木綿はたおり工房

大阪商業大学 商業史博物館  
Osaka University of Commerce



## シンポジウム

11月23日(土・祝) 13時～16時15分

報告①山中 浩之(大阪府立大学名誉教授)  
「河内のある木綿問屋商人とその公的活動」

報告②土田 真紀(元三重県立美術館学芸員)  
「『民藝』から見た河内木綿」

報告③李 熙連伊(八尾市魅力創造部観光・文化財課)  
「河内木綿について」

報告④岩下 真央(大阪商業大学商業史博物館学芸員)  
「商業史博物館所蔵の河内木綿資料」

報告⑤明尾 圭造(大阪商業大学教授・商業史博物館首席学芸員)  
「大学ミュージアムの可能性—河内木綿のグッズ展開」

会場:大阪商業大学ユニバーシティホール 蒼天(定員100名)

## 河内木綿はたおりワークショップ

10月30日(水)、11月6日(水) 10時～12時15分

講師:河内木綿コットン・クラブ

会場:谷岡記念館1階 多目的室(各回定員6名)

## 展示解説(申込不要)

10月24日(木)、12月12日(木) 14時～(約20分間)

開始時間までに企画展示室へお集まりください。

## 連続講座

11月12日(火) 14時～15時30分

酒野 晶子(元天理大学非常勤講師)  
「河内木綿の観察」

11月26日(火) 14時～15時30分

下山 晃(大阪商業大学非常勤講師)  
「河内木綿と近代欧米のコットン文化:比較史のびっくり箱」

12月10日(火) 14時～15時30分

加藤 慶一郎(大阪商業大学教授・商業史博物館館長)  
「河内の綿業の歴史:江戸から明治へ」

会場:大阪商業大学ユニバーシティ・コモンズ リアクト  
3階セミナールーム1(定員50名)



## イベント申込方法

10月9日(水) 10:00 申込受付開始

申込制のイベントは、右記フォームまたはファクス(06-6785-6237)より「氏名・住所・連絡先の電話番号」をお書き添えの上、お申し込みください。

\*先着順です。定員に達し次第募集を締め切ります。  
\*受講料は発行しません。ご受講いただけない場合のみご連絡いたします。

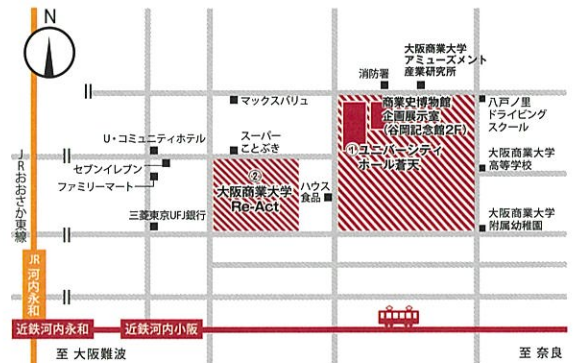
<https://forms.gle/hDn74FrLop9UiT1U7>



## 大阪商業大学 商業史博物館

Osaka University of Commerce

〒577-8505 東大阪市御厨栄町 4-1-10 TEL:06-6785-6139 FAX:06-6785-6237  
<https://ouc.daishodai.ac.jp/museum/>



近鉄奈良線「河内小阪駅」下車、北東へ徒歩5分  
駐車場はございません。公共の交通機関をご利用ください。

表面1段目右から:亀甲に牡丹と鶴文型染布団地(部分) 三筋格子縞布団地(部分) 二棒縞布団地(部分) 菱格子に三つ星小紋型染布衣 2段目:箭入り小舟縞格子縞布団地(部分) 牡丹文縞縞布団地 下り藤に加文字紋型染布物 3段目:菊と荒波文伊勢型紙(部分) 4段目:丸に武田菱紋型染油草 5段目:玉雪拵半纏 山口草平《高安の里》(部分) 個人蔵 表面背景:「河内国中絵図」(部分)  
裏面:桐鳳凰文縞縞布団地 裏面背景:牡丹唐草文型染布団地(部分) 特に記載のないものは大阪商業大学商業史博物館蔵